

平成 26 年 12 月 北秋田市長定例記者会見

平成 26 年 12 月 25 日（木）13 時 00 分

市役所本庁舎 大会議室

1. 今年 1 年間を振り返って
2. 高機能消防指令システムの完成について
3. 第 1 回秋田県どぶろく研究交流大会について
4. 阿仁熊牧場くまくま園 ひぐまの冬眠観察会の開催について
5. その他

1. 今年1年間を振り返って

今回の定例記者会見が本年最後となりますので、1年を振り返っての感想と新年の抱負について少しお話させていただきます。

まずもって、今年は北秋田市が誕生して10周年という記念すべき年でありました。おかげさまで、10月11日の誕生記念式典は、市民待望の市民歌のお披露目と共に滞りなく開催することができ、これまでを振り返るとともに市民の気持ちを一つにして、新たな10年に向けたスタートを切ることができました。市民歌の普及につきましては、金融機関や小中学校、自治会をはじめとする各団体の皆様のご協力によって、徐々に浸透してきております。ご協力頂いております皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。

また、7月19日の阿仁熊牧場くまぐま園リニューアルオープンや10月から11月にかけての第29回国民文化祭2014 in あきたでは、期間合計でくまぐま園には2万5,225人、国文祭には2万5,361人という多くの方々にお越し頂き、成功裏に終えることができ、北秋田市を県内外に大いに発信できたと考えております。

その他、建設工事が始まった（仮称）生涯学習交流施設や駅前アーケード、合川小学校や合川地区児童クラブ、宮前町住宅や伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設も順調に進んでおりますし、来年はいよいよクリーンリサイクルセンターも建設着工となるなど、大型事業が続いてまいります。

観光面でも、森吉山観光振興プロジェクトによるゴンドラ山頂駅舎付近へのビジターセンターの建設や山麓駅舎の改修工事が始まりますし、この後の項目でも触れますが、くまぐま園での冬期間バックヤードツアーなど、リピーターを増やすための取り組みを、引き続き推進してまいりたいと考えております。

平成27年度は、北秋田市総合計画の最終年度にあたることから、来年はこれまでの事業の成果と課題を分析し、第2次北秋田市総合計画を策定していくこととなります。迫りくる超少子高齢化や人口減少を見据え、「北秋田市定住促進基本方針」をもとにした組織横断的な対策を行うなど、一丸となって魅力ある北秋田市づくりのために取り組んでまいりたいと考えております。

2. 高機能消防指令システムの完成について

本年度工事を進めてまいりました消防本部の高機能消防指令システムが、来年の1月13日に本稼働を開始いたします。

このシステムの完成により、「現場到着時間の短縮」、「大規模災害時の対応強化」、「情報の集約・効率化」が図られ、地域住民の安全・安心につながる、より質の高い行政サービスが提供できるものと期待しているところであります。

具体的な機能としては、119番位置情報システム通報や自動出動指定装置、予告指令装置、車載のAVM装置などであり、例えば119番通報を受けると、その電話番号が登録されている住所地の地図が瞬時に表示され、通報内容によって出動車両の種類や台数が予告・指令され、その情報が主要な車両に搭載されるAVM装置によって、位置情報やナビゲーションと連動し、受付から現場到着までの時間短縮などの効果が図られるものであります。

なお、来年1月16日の午後1時から、報道機関の皆様や関係者への公開として、実際の機器やシステムの詳細な説明等を行う予定としておりますので、ぜひともご参加頂きますようご案内いたします。

3. 第1回秋田県どぶろく研究交流大会について

来年1月30日と31日に、打当温泉マタギの湯におきまして、第1回秋田県どぶろく研究交流大会を開催することとなりました。

これは、今年1月に開催した第9回全国どぶろく研究大会のいわば秋田県版ということで、県内でどぶろくを製造している6つの製造者が一堂に会し、製造状況や活用方法、さらには各地域への波及効果等についての意見交換を行い、さらなる地域の活性化につなげるために開催されるものです。

初日は、午後4時の開会のあと、県鷹巣阿仁福祉環境部の梅田環境指導課長による講演やどぶろくコンテストと交流会が行われ、二日目は午前9時から事例発表・情報交換会と表彰式が行われる予定となっております。

コンテストと交流会の参加費は4,000円（宿泊別）となっており、一般参加者先着10名をコンテストの審査員とする予定となっているほか、昨年の全国どぶろくサミットで各賞を受賞された製造者の方々からご提供を頂いたどぶろくの飲み比べ等も企画しておりますので、ふるってご応募いただき、ぜひ内陸線に乗ってご参加下さるよう、PR等をよろしくお願いいたします。

4. 阿仁熊牧場くまぐま園 ひぐまの冬眠観察会の開催について

前回の記者会見で若干お話させて頂きましたが、くまぐま園のヒグマ舎バックヤードツアーとして、「ひぐまの冬眠観察会」を開催することとなりましたので、その概要についてご説明いたします。

まず開催日は、来年1月18日から2月22日までの毎週日曜日の午前中、合計6回とし、参加定員は20名としております。

観察会当日は、ひぐまの冬眠の妨げにならないよう、細心の注意を払いながらそっとひぐまを観察していただくほか、環境学習用のDVDを鑑賞する予定としております。

現在、内陸線とも連携したツアー企画品として検討しており、料金等の詳細につきましては、年内にも改めて担当から情報提供させて頂く予定となっております。

普段見ることのできない“冬眠中のひぐまに会いにいける今だけ、ここだけ”に拘った体験型の企画となっておりますので、こちらのPRにつきましてもよろしくお願いいたします。